



教育目標 新しい自分を探し続ける子ども

重点目標
◆かかわり合い自分の学びを深める子(知) ◆友達を大切にし、共に支え合う子(徳) ◆互いにかかわり合い体をきたえる子(体)

成果目標(目指す児童の姿)

知(かかわり合う子)	徳(支え合う子)	体(きたえ合う子)
1 単元末テスト(1・2年)とWeb配信問題(3年以上)で正答率70%を超える児童が70%以上※1・2年正答率80%	1 仲間と協力している児童が学級と縦割り班で80%以上	1 友達と一緒に楽しく運動する児童が80%以上
2 意欲的に課題に取り組み、友達とかかわって課題解決をし、振り返りを書ける児童が80%以上	2 学校生活アンケートで「学校に来るのが楽しみだ」の肯定的な評価が90%以上	2 秋の体カテストで、握力と短距離走が春の体カテストの結果より上回る児童が80%以上
3 ゲストティーチャーの話から新たな知見が得られた児童が80%以上	3 学級満足群の児童が70%以上(Q-Uの結果による)	3 健康的な生活習慣(メディアコントロール)が定着している児童が80%以上

重点方策

1 単元末テストとWeb配信集計システムの確実な実施 サポート問題、補充・発展問題を確実に実施する。その後、結果を全職員で共有し指導方法を見直す。	1 学級での人間関係調整力の育成 「絆タイム」、「みんなであそぼうタイム」、学級活動等を活用し、各学級で人間関係調整力を育てる実践を行う。	1 健康な体づくりの時間(元気に遊ぼうタイム)等を活用し、学級や異学年でやりたい運動・遊びを実施 事前にやりたい運動・遊びを相談し、運動する意欲を高める。
2 「課題」「まとめ」を意識した授業実践と「振り返り」の充実 言語活動を充実させ、思考力・判断力・表現力を育成する。	2 なかよし班活動・異学年交流 「なかよしタイム」で反省会を行い、自分と友だちのよさを認め合うことで自己肯定感を育てる。	2 体育授業で、握力・短距離走につながる補強運動の実施 握力・短距離走記録アップにつながる運動を紹介し、授業の中で実施する。また、家庭へ運動生活についての啓発も行う。
3 家庭学習や読書習慣の定着 保護者と連携した家庭学習と読書習慣の定着を図る。	3 教育相談の充実 子ども一人一人の心に寄り添った教育相談を実施するとともに、児童理解に努める。	3 保健・食の指導の実施 意識調査や実態調査を基に、保健指導や食の指導、メディアコントロールについての指導を全学年と個別で実施する。また、家庭への啓発も積極的に行う。
4 「さわねタイム」による地域理解 ひと・もの・ことに進んで関わり、沢根・佐渡のよさを見付けるようにする。	4 居心地のよい学級づくり 居心地の良い学級をめざして手立て作成し、学級の実態に応じ見直しを行い実践する。学級経営の研修を行う。	

佐渡への愛着 人間関係形成・社会形成能力 キャリアプランニング能力
キャリア教育

- ・食卓など家庭の会話を大切にする
- ・大人が仕事について語る
- ・あいさつを大切にする
- ・地域行事や公民館活動などに積極的な参加を促す

- 自分の家の子どもだけでなく、よその家の子どもにも声がけできるPTAにする。
- 保護者同士が親睦・連携を図るように活動を工夫する。
- 豊かな自然・歴史・文化等を生かした教育活動の展開
- ボランティアや支援隊などの組織づくり
- 関係機関との行動連携の推進

<保護者>

<地域>

佐渡市教育大綱

【基本理念】
明日の佐渡を創る人、世界に羽ばたく人の育成

【基本方針】
佐渡を知り、愛し、誇りとし、社会的自立を目指す人づくりの推進

【基本目標】
(1)学ぶ意欲を高め確かな学力等を育成する教育の推進
(2)郷土愛を軸にしたキャリア教育の推進
(3)安全・安心な学校づくり